

東北農林専門職大学(仮称)基本計画 最終報告 骨子(案)

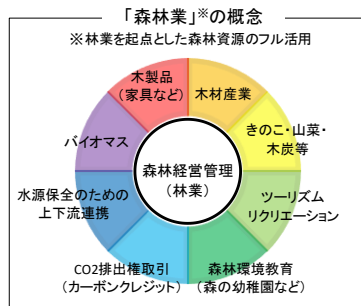
令和4年5月
山形県

1 設置の趣旨及び必要性

将来展望 ↓ 設置意義	農業・森林業を取りまく情勢変化		
	グローバルな経済連携の進展等	消費者・国民ニーズの多様化等	環境共生型農林業等の推進
新たな経営戦略を構築・実践・検証の上、更なる展開へつなげ、国際的にも比肩することができる農林業経営者の育成			
現場の先進的な経営や高度な技術を生きた教材とし、経営感覚と現場感覚に優れ、理論に裏打ちされた実践力を備えた農林業人材を育成		グローバルな視点で物事をとらえ、戦略的な経営に取り組める農林業人材を育成。既成概念にとられない研究に取り組み、農林業現場の技術開発を先導	農林業を核とした関連産業の振興や価値の創出に資する人材育成及び研究開発を担い、「東北創生」の拠点となる

2 学部・学科等の特色

- (1) 学部
農業・森林業各分野の職業専門性を高める教育と、展開科目等を通じた学科横断による学生同士の学び合いの両立
- (2) 学科
【農業】単作・複合双方の経営形態への対応はもとより、農産加工・販売をはじめとする農業経営の多角化にも対応した教育研究
【森林業】林業を中心とし、バイオマス利活用、木材産業、きのこの等非木材森林産品、森林サービス産業等について幅広く対応した教育研究



3 大学・学部・学科等の名称及び学位の専攻分野の名称

- (1) 大学：東北農林専門職大学(仮称)
- (2) 学部：農林業経営学部(仮称)
学科：農業経営学科(仮称) / 森林業経営学科(仮称)
- (3) 学位：農業学士(専門職)(仮称) / 森林業学士(専門職)(仮称)

4 教育課程等の編成の考え方及び特色

「教育課程の編成及び実施の方針」を踏まえ、専門職大学設置基準に定められた分野ごとにカリキュラムを編成。

(1) 単位数

学科	基礎科目	職業専門科目	展開科目	総合科目	合計
農業経営学科	20単位	84単位 (講義・演習 41単位 実習 43単位(うち学外実習 25単位))	20単位	4単位	128単位
森林業経営学科	20単位	86単位 (講義・演習 43単位 実習 43単位(うち学外実習 25単位))	20単位	4単位	130単位

- (2) カリキュラム
各学科のカリキュラムは別紙2・3「カリキュラムマップ」のとおり。
- (3) 教育課程の開発及び不断の見直しを行う仕組み
農林業界及び東北地域社会の関係者との連携の下、「教育課程連携協議会」を設置し、関係各界ニーズを踏まえた教育課程の不断の改善が担保される仕組みを整備。

5 教員組織等の編成の考え方及び特色

農業経営学科は稲作、果樹、野菜・花き及び畜産、森林業経営学科は森林経営管理及び森林資源利活用の各分野に、研究者教員と実務家教員とを各1名以上配置し、理論と実践とを架橋した教育研究ができる体制となるよう配慮。

	入学定員	収容定員	専任教員				教員数計
			学部長・学科長	研究者教員	実務家教員	予備枠	
農業経営学科	32	128+4	1	8	10	1	20
森林業経営学科	8	32+4	1	4	4	1	10
合計	40	160+8	2	12	14	2	30

6 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

- (1) 教育方法
授業の方法は、講義形式、演習形式及び実習形式の3つにより構成。
面接授業が基本。授業内容により、メディア(同時双方向型及びオンデマンド型等)を利用した授業も効果的に組み合わせて行う。各科目の受講学生数は最大40名とし、科目によっては複数クラス編成により授業を実施。
- (2) 履修指導方法
入学時の学科ごとのガイダンスで、履修ガイドブック、シラバス等により履修モデル等を提示するほか、履修ガイダンスの実施による履修方法についての説明を実施。
- (3) 卒業要件
ディプロマ・ポリシーに掲げる資質及び能力を身に付けることのできる科目及び単位の修得をもって卒業を認める。

7 教育課程連携協議会

産業界及び地域社会との連携により教育課程を編成し、円滑かつ効果的に実施するために設置。任期は2年。再任可。

区分	対象	趣旨
教職員	本専門職大学教員	他区分の構成員からの意見を汲み取り、教育課程への確に反映するため
職業	農林業関連団体役員	農林業界のニーズを、教育課程への確に反映させるため
地域	地方公共団体職員	農林業に関する地域の実情や課題等を教育課程への確に反映するため
協力	臨地実務実習先経営者	優れた生産や経営のノウハウ等を有する農林業経営体の協力を得るため
その他	学長が指定する者	上記以外で農林業との連携の視点から専門職大学の教育課程に必要なため

8 多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画

- 面接授業を基本としつつ、以下の2つの方法のいずれか又は双方の方法を組み合わせて実施。
- (1) 同時双方向型(テレビ会議方式)
- (2) オンデマンド型(インターネット配信方式)

9 編入学定員の計画

- (1) 3年次編入学定員：農業経営学科2名、森林業経営学科2名
- (2) 対象：大学、短期大学又は専修学校を卒業(卒業見込みを含む。)し、本専門職大学が教育する専門知識をある程度有している者
- (3) 既修得単位：60単位を目安に、入学時に個別具体的に認定

10 施設・設備等の整備計画

- (1) 施設
講義、演習、実習等に必要の教室を整備。教員研究室は1人部屋を30室、ゼミ室は6部屋を整備。
教員研究室(5室)とゼミ室(1室)を1ユニットとし、計6ユニット配置し、卒業研究やグループ単位での研究に対応。
稲作・果樹・野菜・畜産・森林業の各分野ごとに、実習の際活用する教育研究施設をキャンパス内に整備。
- (2) 設備等
実習等に必要の附属施設(農場等)、分析機器等の設備や器具を整備。
- (3) 図書等の資料及び図書館の整備計画
蔵書数は約5万冊分のスペースを用意。カリキュラムに必要な図書を整備。閲覧席、レファレンス・コーナー、整理室、ロビー、AVコーナーを整備。

11 入学者選抜の概要

「学生受入れの方針」を踏まえ、以下の入試内容を適切に組み合わせて実施。また、科目等履修生及び聴講生も受入れ。

区分	一般選抜	総合型選抜	指定校推薦型選抜	特別選抜 (社会人、私費外国人留学生)
対象	県内外を問わず、専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持つ高校生等	県内外を問わず、専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持ち、将来的に地域の農林業を牽引する高い意欲を持つ高校生等(いわゆる「AO入試」)	専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持ち、将来的に地域の農林業を牽引する高い意欲を持ち、他の模範となる県内高校生	県内外を問わず、専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持つ私費外国人留学生やリカレント教育を希望する社会人
選考方法	大学入学共通テスト(英、数I・A、理科から1科目、地理歴史及び公民から1科目の4科目)、面接、小論文	書類、面接、小論文	書類、訪問面接	書類、面接
人数	農業経営学科 10名 森林業経営学科 2名	農業経営学科 10名 森林業経営学科 2名 東北6県の高校出身者向けの優先枠を設けることを検討	農業経営学科 12名 森林業経営学科 4名 県内高校から推薦	農業経営学科 若干名 森林業経営学科 若干名 総合型選抜の内数

12 取得可能な資格

農林業に必要な多くの資格が取得可能。

- 農業経営学科
小型車両系建設機械、フォークリフト運転技能、大型特殊自動車免許(農耕用) 等
- 森林業経営学科
高性能林業機械、フォークリフト運転技能、森林情報士2級(森林GIS) 等

13 実習の具体的な計画

- (1) 概要
- 1年次：基礎的な生産管理の技術を修得する学内実習、経営実態の理解を深める実地体験実習等を実施。
 - 2年次：学生が将来経営の軸にしたい分野における発展的な生産管理の技術を修得する学内実習、実地での生産管理に関する知識や技術を実践する臨地実務実習を実施。
 - 3年次：経営の多角化に資する技術を修得する学内実習、経営管理や経営の多角化に関する知識や技術を実践する臨地実務実習を実施。
 - 4年次：生産管理及び経営管理に関する知識、技術及びそれまでの実務経験を総合化する臨地実務実習を実施。
- (2) 臨地実務実習
- ・実習の時期は、山形の特徴的な農産物の栽培歴や森林施業が実施可能な適期を考慮した「臨地実務実習ウィーク」に実施。
 - ・学生は実習先と調整のうえ、各学期の「臨地実務実習ウィーク」(計30日間)の中から、任意の計15日間を選択し、集中的に実施。

臨地実務実習ウィークの実施時期	前期(授業期間:4月～7月)	4月中下旬、5月中下旬、6月下旬～7月上旬
	後期(授業期間:9月～12月)	9月中下旬、10月中下旬、12月上旬

【臨地実務実習先候補者(令和4年4月末現在)】

	農業経営体	森林業事業体	計
山形県内	285	50	335
山形県外※	34	3	37
計	319	53	372

※ 山形を除く東北各県。候補者は現在調整中

14 企業実習や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的な計画

- (1) 時期：2年次又は3年次の春季休業期間中(1月下旬～3月末日)
- (2) 期間：7～10日間
- (3) 行先：将来の農業又は森林業経営の参考となる先進的な取組等を学べる海外の国連機関等

15 管理運営

- (1) 学長
大学の校務をつかさどり、所属職員を統督する立場から、学生の入学及び卒業、学位の授与、「3つのポリシー」(学位授与方針、教育課程の編成及び実施の方針及び学生受入れの方針)の変更、教育課程の変更等の決定等、教学面の事項について権限を有する。
- (2) 教授会
農林業経営学部の運営に関する重要事項(学生の入学及び卒業、学位の授与、「3つのポリシー」の変更、教育課程の変更等)を審議するため設置。全ての教授及び准教授で構成。
- (3) 教育課程編成検討会議
教育課程の新設及び改廃を自律的に検討するため設置。併せて、職業専門科目の専門的検討を行うため、本検討会議の下に農業経営部会及び森林業経営部会を設置。検討会議は学部の全専任教員、部会は各学科の全ての専任教員で構成。
- (4) 専門委員会
本専門職大学の校務を分担するため、学長の下に入試・広報委員会、教務学生委員会、自己点検評価・SDFD委員会等の専門委員会を置く。

16 自己点検・評価

- (1) 自己点検評価・SDFD委員会において教育研究水準の向上に資する自己点検・評価を行い、その結果を踏まえ教育研究活動の改善を図る。その結果は大学ホームページ等で公表。
- (2) 評価項目：理念・目的・教育目標、教育研究組織、教育課程、学習成果、学生の受入れ、学生の支援、教育研究等環境、社会貢献、管理運営、事務組織、財務、内部質保証 等

17 情報の公表

- (1) 公表方法：大学ホームページへの掲載、大学案内などの刊行物等。
- (2) 公表内容：教育研究上の目的、教育研究上の基本組織、教員組織、教員の数・教員の業績等、入学者に関する受入れ方針、入学者数等、授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画、教育研究環境、授業料、入学料 等

18 教育内容の改善を図るための組織的な研修等

- (1) 教育研究上の理念と教育目標に係る研修会の実施(開学前・開学後は定期的に開催)
- (2) 学生による授業評価の実施
- (3) 「学生による授業評価」を活用した授業検討会、教職員間の情報交換、体験報告等の研修、学外で開催される研究会や研修会への教職員派遣 等

19 社会的・職業的自立に関する指導及び体制

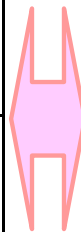
- (1) 教育課程内の取組
就農・就業に備え、社会的・職業的自立に資するようにカリキュラムを組み立てる。
卒業研究の担当教員が所属学生の就農・就業指導に当たるほか、教職員がオフィスアワーなどを活用して学生の履修や就農・就業の指導・支援に当たるなど、組織的に取り組む。
- (2) 教育課程外の取組
「キャリアサポートセンター」を設置し、学生のキャリア形成支援と就農・就業活動支援を行う。
県関係機関での経験豊富な職員を配置し、各学生の就職希望に適した就農・就業活動支援を実施。
- (3) 卒業後の支援
キャリアサポートセンターと、各地域の普及機関や各分野の研究所が連携し、卒業後も卒業生が必要な支援を的確に受けられる体制を整備。

専門職大学の3つの基本方針(ポリシー)とこれらの対応関係

ディプロマ・ポリシー (DP)	
(1) 東北、とりわけ山形の農業又は森林業が立脚する地域、自然環境等の特性について理解し、その基礎の上に、我が国はもとより、世界のマーケットを見据えた農業又は森林業経営を実践していく心構えがある。	
(2) 農業又は森林業の分野に留まらない知識、英語力を含むコミュニケーション能力を有するとともに、多様性などを理解しグローバルに物事を考える能力がある。	
(3) 農業又は森林業の生産管理に関する知識や技術を有している。	
(4) 農業又は森林業の経営管理に関する知識や技術を有している。	
(5) 農業又は森林業を起点とした加工・販売など経営の多角化に資する知識や技術を有している。	
(6) 農業又は森林業と隣接する他分野の知識を活用することにより、農業又は森林業経営において、新たな事業展開を生み出すための手法を理解している。	
(7) 農山村地域が抱える諸課題の解決に向け、地域の農業又は森林業像について農業又は森林業関係者と真摯に議論を交わすこと等ができる。	
(8) 修得した知識と技術を駆使して農業又は森林業経営の課題解決に必要な情報を収集・分析・整理するとともに、分析・整理した結果を表現できる能力を有している。	

カリキュラム・ポリシー (CP)		対応DP
【学科共通】(1) 農業、森林業の各分野の経営体において、その中核を担うために必要な知識や、農山村の地域社会をリーダーとして支えていくために必要な知識等を身に付けるための科目群を、講義、演習、実習等を効果的に組み合わせで編成する。		(1)
		(2)
		(3)
		(4)
		(5)
		(6)
		(7)
		(8)
【学科共通】(2) 農業、森林業別の科目と、分野横断的な共通の科目を適切に組み合わせで4年間の教育課程を編成する。		(1)
		(2)
		(3)
		(4)
		(5)
		(6)
		(7)
		(8)
【学科共通】(3) グローバルな視野を持った農業又は森林業経営者の育成につなげる観点から、「読む、書く、聞く、話す」の4つの英語技能を身に付けることができる学びに加え、国際的な農業又は森林業事情について学べるよう編成する。		(1)
		(2)
【学科共通】(4) 地域社会のリーダーとしてこれからの農山村を支える観点から、本県の農山村を舞台にしたフィールドワーク(地域づくりのケーススタディ)の手法についての講義・演習を実施できるよう編成する。		(1)
		(2)
		(7)
		(8)
【学科共通】(5) 展開科目については、学科や学年の枠を超えた学生同士の学び合いを通じ、既成の発想に囚われない自由な思考を促す講義・演習の実施が可能となるよう編成する。また、学ぶ領域における基礎的な事項を理解したうえで、これを自ら応用できる素養を身につける観点から、それぞれの領域について、講義と演習をセットで履修する。		(1)
		(2)
		(3)
		(4)
		(5)
		(6)
【学科共通】各科目の成績評価方法については、シラバスにその具体的内容を記載するが、①講義及び演習については、学修内容を自己の言葉で他者に表現できる力を、②実習については、個別の実践内容の結果も含め、主体的に思考し、取り組む姿勢や過程を、それぞれ重点的に評価する。		(1)
		(2)
		(3)
		(4)
		(5)
		(6)
		(7)
		(8)
【農業経営学科(仮称)】(1) 作物・園芸・畜産のいずれかの単作経営のみならず、これらの複合経営による農業経営者を育成する観点から、各分野の営農実態について理解できるよう、1年生でこれらの生産理論及び防疫理論を幅広く学べる構成として職業専門科目を編成する。 (2) 農業の専門性及び実践力を高めるため設ける実習科目については、理論と実践を架橋する観点と地域の農村、農業関係者との関係づくりに資する観点から、①1年生においては、作物・園芸・畜産の各分野における農業経営の実態について理解を深める体験実習を行うこととし、②2年生以降については、学生が将来経営したい分野の実践力を高められるよう、臨地実務実習を段階的・継続的に行うことができるよう編成する。		(3)
		(4)
		(5)
【森林業経営学科(仮称)】(1) 「伐って、植えて、育てる」森林の循環利用を図る経営管理の理論や、産出する木材をはじめとする森林資源の利活用に関する理論について幅広く学べるよう職業専門科目を編成する。 (2) 森林業の専門性及び実践力を高めるため設ける実習科目については、理論と実践を架橋する観点と地域の山村、森林業関係者との関係づくりに資する観点から、①1年生においては、造林・保育・伐採の各施業をはじめ、木材産業や非木材森林製品の生産、その他の森林生態系サービスを含む森林業経営の実態について理解を深める体験実習を行うこととし、②2年生以降については、学生が将来経営したい分野の実践力を高められるよう、臨地実務実習を段階的・継続的に行うことができるよう編成する。		(3)
		(4)
		(5)

アドミッション・ポリシー (AP)	対応CP
(1) 農業又は森林業の生産技術や経営などを学ぶ上で必要な基礎学力と知識を身に付けている人	(1)
	(2)
	(6)
	(農)
(2) 論理的に思考し、表現できる人	(1)
	(3)
	(4)
	(5)
	(6)
	(農)
	(林)
(3) 国際的な視座に立って、地域の農業又は森林業・農山村が抱える課題に向き合う意欲がある人	
	(3)
	(4)
	(6)
	(農)
(林)	
(4) 地域の農業又は森林業・農山村が抱える課題解決や新たな価値の創造に取り組むために、従来の常識にとらわれない柔軟な思考力を備えている人	
	(4)
	(5)
	(6)
	(農)
(林)	
(5) 農業又は森林業に高い関心を持ち、農業又は森林業や経営の中核となり、農業又は森林業の発展に貢献する意欲がある人	
	(1)
	(2)
	(4)
	(5)
(6)	
(農)	
(林)	



カリキュラムマップ（案）（農業経営学科（仮称））

科目	教育課程													
	1年		2年		3年		4年							
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
基礎科目 (20単位)	■地域等の特性(4単位)【DP1】 山形・東北の風土・伝統文化 2				哲学と東北 2									
	■コミュニケーション能力(6単位)【DP2】 (自由)英語基礎 2 コミュニケーション論 2		ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 II 2											
	■一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)(10単位)【DP2】 スポーツ(実習) 1 (自由)生物学 2 (自由)化学 2 (自由)物理学 2		SDGsと倫理 2 2単位を選択 気象・気候学概論 2 統計学 2		情報活用(実習) 1 2単位を選択 政治学概論 2 社会学概論 2 法律学概論 2		経済学入門 2							
職業専門 科目 (84単位)	■生産理論・技術(30単位)【DP3】 土壌・肥料学 2 農業概論 4 耕畜連携論 1		農業概論演習 2 2単位を選択 植物病理学 2 家畜衛生学 2		先端農業技術論 1 (自由)家畜人工授精論 4 2単位を選択 栽培各論(稲作) 2 栽培各論(野菜・花き) 2 栽培各論(果樹) 2 飼育各論(畜産) 2		圃場実習 I 8 圃場実習 II(稲作) 8 圃場実習 II(野菜・花き) 8 圃場実習 II(果樹) 8 圃場実習 II(畜産) 8							
	■経営全般(生産管理、経営管理等)(40単位)【DP1】【DP3】【DP4】 農業実地体験実習 1		SDGsと農業・森林業 2 臨地実務実習 I(生産管理等) 8 国際農業論 1 (自由)国際農業・森林業実習 4		農業政策 2 組織マネジメント論 2 農業経済学 2 臨地実務実習 II(経営管理等) 8 国際農業論 1 (自由)国際農業・森林業実習 4		マーケティング論 2 農業経営分析・計画 2 税制・簿記論 1 簿記各論 1 臨地実務実習 III(経営総合) 8							
	■加工・販売(7単位)【DP5】		農業生産工程・食品衛生論 2		食品製造・販売 2		食品製造・販売実習 2 農業知的財産論 1							
	■地域課題解決能力(7単位)【DP1】【DP3】【DP7】		講義:2単位、演習:1単位、計3単位を選択 東北の稲作 2 東北の野菜・花き 2 東北の果樹 2 東北の畜産 2		東北の稲作演習 1 東北の野菜・花き演習 1 東北の果樹演習 1 東北の畜産演習 1		農山村活性化論 2 農山村活性化論演習 2							
展開科目 (20単位)	■応用的・創造的能力(20単位)【DP2】【DP6】 講義(1~4年前期):2単位、演習(1~4年後期):2単位 ※講義10単位と演習10単位を選択													
	デザイン論	デザイン論 演習	金融学	金融学演習	発酵学 ・醸造学	発酵学 ・醸造学演習	建築学	建築学演習	社会福祉論	社会福祉論 演習	栄養学	栄養学演習	山形・東北 観光学	山形・東北 観光学演習
総合科目 (4単位)	■総合的能力(4単位)【DP7】【DP8】													
	経営分析・計画演習 4													

＜カリキュラムの概要＞

1年
農業の分野全般にわたる講義・演習と実習等を通じ、自分が将来的に経営したい分野への理解を深める

↓

2年
自らが将来経営の軸にしたい分野を中心とした生産管理の学び等を深める

↓

3年
農業経営に必要となる経営管理の学び等を深める

↓

4年
これまで学んだ生産管理及び経営管理の学び等を総合化し、就農に備える

カリキュラムマップ（案）（森林業経営学科（仮称））

科目	教育課程							
	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目 (20単位)	■地域等の特性(4単位)【DP1】 山形・東北の風土・伝統文化 2				哲学と東北 2			
	■コミュニケーション能力(6単位)【DP2】 (自由)英語基礎 2 コミュニケーション論 2		ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 II 2					
	■一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)(10単位)【DP2】 スポーツ(実習) 1		SDGsと倫理 2 2単位を選択 気象・気候学概論 2 統計学 2		情報活用(実習) 1 2単位を選択 政治学概論 2 社会学概論 2 法律学概論 2		経済学入門 2	
	(自由)生物学 2 (自由)化学 2 (自由)物理学 2							
職業専門科目 (86単位)	■生産理論・技術(33単位)【DP3】 森林土壌・樹木学 2 造林学 2 森林生産学 2 森林労働安全衛生論 1		非木材森林産品概論 1 森林生態系サービス保全利用論 1 森林保護学 2 森林保全学 2		測量学 2 森林情報学 1		先端森林業技術論 1	
	演習林実習 I 8		演習林実習 II 8					
	■経営全般(生産管理、経営管理等)(40単位)【DP1】【DP3】【DP4】				SDGsと農業・森林業 2		森林環境政策 2 組織マネジメント論 2 森林経営管理学 2	
	森林業実地体験実習 1		臨地実務実習 I (生産管理等) 8		臨地実務実習 II (経営管理等) 8		マーケティング論 2 森林業経営分析・計画 2 税制・簿記論 1	
			国際森林業論 1 (自由)国際農業・森林業実習 4		※履修時期は2年又3年後期		(自由)国際農業・森林業実習 4	
	■加工・販売(6単位)【DP5】		木質科学概論 2		木材利活用論 2		木材加工・販売実習 2	
■地域課題解決能力(7単位)【DP1】【DP3】【DP7】		講義: 2単位、演習: 1単位、計3単位を選択 東北の森林経営管理 2 東北の森林資源利活用 2		東北の森林経営管理演習 1 東北の森林資源利活用演習 1		農山村活性化論 2 農山村活性化論演習 2		
展開科目 (20単位)	■応用的・創造的能力(20単位)【DP2】【DP6】		講義(1~4年前期): 2単位、演習(1~4年後期): 2単位 ※講義10単位と演習10単位を選択					
	デザイン論	デザイン論演習	金融学	金融学演習	発酵学・醸造学	発酵学・醸造学演習	建築学	建築学演習
総合科目 (4単位)							社会福祉論	
							社会福祉論演習	
						栄養学		
						栄養学演習		
						山形・東北観光学		
						山形・東北観光学演習		
						経営分析・計画演習 4		

＜カリキュラムの概要＞

1年
森林業の分野全般にわたる講義・演習と実習等を通じ、自分が将来的に経営したい分野への理解を深める

↓

2年
自らが将来経営の軸にしたい分野を中心とした生産管理の学び等を深める

↓

3年
森林業経営に必要な経営管理の学び等を深める

↓

4年
これまで学んだ生産管理及び経営管理の学び等を総合化し、就業に備える

卒業単位: 130単位 ※白色は必修科目、オレンジは選択科目、水色は自由科目(自由科目は卒業単位に含めない)